

アナモフィックレンズ

F480SYS FVX200

アナモフィックレンズは単にアスペクト比を変えるだけでなく、1080p全てをイメージ領域とし映像のパフォーマンスを引き出します。

2001年設立以来、デジタルプロジェクターおよびホームシアター市場で最も推奨されるシネマスコープ用アナモフィックレンズメーカー。

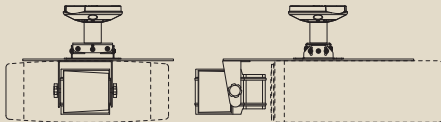
PanamorphTM
GET THE PICTURE.

F480SYS 水平拡大方式アナモフィックレンズセット

PROFESSIONAL GRADE HORIZONTAL EXPANSION LENS

レンズ (UH480)、取付金具、天吊金具セット

Vストレッチ(イメージの縦方向拡大)機能の搭載しているプロジェクターであれば機種を問わず、組み合わせが可能です。16:9 イメージと同じ投射距離で、幅広のシネスコ(2.35:1)イメージを投射することができるので、狭小空間でもシネマスコープ環境を構築できます。



F480SYSセットイメージ



Photo: UH480

- ガラスプリズム方式なので、細かな調整なしでシネマスコープ環境を構築可能。
- EDレンズ型アナモフィックレンズと異なり、平面スクリーンとのシステム構築が可能。
- 低分散ガラス採用で、色収差を極限レベルまで制御。
- プロジェクターとUH480と一緒に天吊できる専用プロジェクター天吊金具付属。
- 全ての3D映像技術と互換。

価格：オープン

スペック	
方式	水平拡大方式
投写距離	シネマスコープイメージ幅 ×1.4 以上 ※120 インチシネマスコープ投写時：4m 以上
対応プロジェクター	16：9 パネル使用全機種

FVX200 垂直圧縮方式アナモフィックレンズ

ANAMORPHIC VERTICAL COMPRESSION LENS

FVX200はアタッチメントの交換で多くのメーカーに対応いたします。



レンズキット

取付金具

組み合わせはイメージです。

「FVX200」は、コストパフォーマンスに優れ、複雑な工事も不要で設置済みのプロジェクター筐体にも簡単に取り付けができます。また、固定式でありながら、2.35:1と16:9の映像環境を簡単に構築できます。

- 筐体に直接取り付けができるので設置が簡単。
- ガラスプリズム方式なので、細かな調整なしでシネマスコープ環境を構築。
- EDレンズ型アナモフィックレンズと異なり、平面スクリーンとのシステム構築が可能。
- 低分散ガラス採用で、色収差を極限レベルまで制御。
- 全ての3D映像技術と互換。

価格：オープン

スペック	
方式	垂直圧縮方式
投写距離	シネマスコープイメージ幅 ×1.7 以上 ※120 インチシネマスコープ投写時：4.8m 以上
対応プロジェクター	JVCをはじめ多くのプロジェクターに対応します。

アナモフィックレンズの役割

- 多くの映画は、2.35：1(シネマスコープ)のアスペクト比でフィルム化されています。そのため、殆どの映画館ではアナモフィックレンズを通してスクリーンに投写しています。そのようなシネマスコープ映像を、16：9のTVやHDプロジェクターで見ると上下に邪魔な黒い枠が発生してしまい、当然、画面も横幅に合わせた小さなものになります。しかし、問題は画面の大きさだけではなく、実は他にも大きなロスが発生しています。
- 黒い枠は1080pある有効走査線の25% (270p)をも占領してしまいます。それは、折角1920×1080の解像度を持つTVやHDプロジェクターであっても、シネマスコープ映像を再生する場合は1920×810にエンコードされて再生されるため、残念ながら本来のクオリティで再現されていません。
- そのような黒い枠を無くし、全ての画素を映像領域とすることで輝度も高くなり、シネマスコープ本来のパフォーマンスを最大限に引き出せるのがアナモフィックレンズです。



上下の邪魔な黒い枠

F480SYS
FVX200

フル画素を使ったシネマスコープ画面